2019

大阪維新の会
羽曳野市マニフェスト

Manifesto

大阪維新の会　マニフェスト2019

大阪府域全体の広域戦略を進めるとともに、
府内各自治体、及び中広域ブロックから総合的に施策立案を展開していく

府内各市町村版

大阪府域版

北摂ブロック版

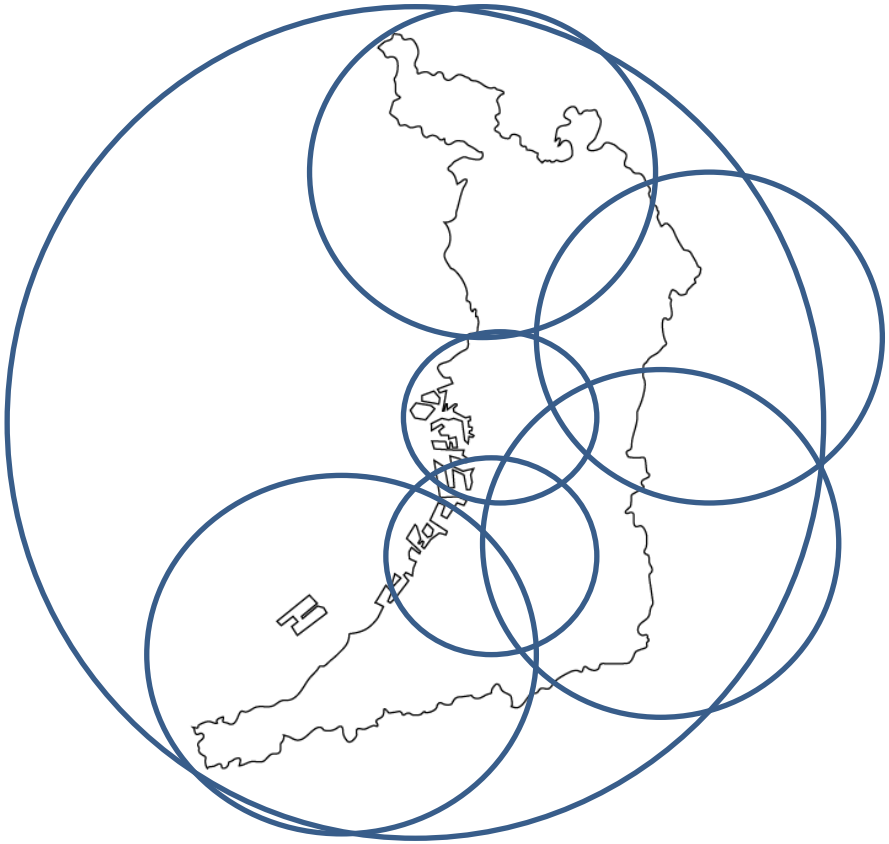
北河内ブロック版

大阪市域版

中・南河内ブロック版

堺市域版

泉州ブロック版



2019統一地方選挙　大阪の成長を止めるな

項　目	具体的施策	現状・課題認識
身を切る改革	○議員報酬削減（１割） ○議員定数削減（１８議席から１６議席） ○政務活動費制度廃止（６万円／月）	○当該選挙区への寄附行為不可 ○地方自治体の財源不足

2019統一地方選挙　大阪の成長を止めるな

項　目	具体的施策	現状・課題認識
行財政改革	○総事業予算の見直し 　現代に見合った事業と、改善が必要な事業を精査し行政のスリム化を図り、行財政の健全化を目指す。 ○総積立基金のチェック機能強化 　当該自治体の400億円の公債費の返済プランを明確に提示させ、将来にツケを残さぬよう各会計チェック機能を強化する。	○財源不足
公共施設（ハコモノ）の将来設計	今後の運営形態を精査し、民営化や業務委託等の積極実施を促し合理的かつ効率的な運用方法を提案・提言する。	

項　目	具体的施策	現状・課題認識
観光都市計画の実現	○企業誘致や資源を活かした宿泊施設設置 　民間との連携を強化し新たなランドマークとなるような施設誘致や、観光客が宿泊できる施設の設置を目指す。 ○インバウンド効果の拡充を目指した多様なプロモーション 　当該自治体では日本遺産を持ち、世界文化遺産登録を目指す多くの古墳が点在し、それらのパブリックツールに加え、当該自治体の特産品であるぶとうやイチジク、加工肉などの魅力を多方面に発信し、他市や海外からのインバウンドによる集客の獲得や税収の拡大、また他市からの移住定住によって7人口減を抑制するなど多岐にわたす効果を観光施策によって実現させることを目指す。 ○広域連携を通じた地域活性化 　観光地としての基礎を構築し広域にわたる連動性、相乗効果を目指す。 ○若手農家育成 　新規農業従事者の拡大を目指し、既得権益の解消と分母拡大を目指す。	○近隣自治体との連携不足 ○民間企業との連携不足 ○インバウンドを効果拡充を目指したプロモーション不足

2019統一地方選挙　大阪の成長を止めるな

項　目	具体的施策	現状・課題認識
防災対策強化	地域間での避難訓練を充実させ、災害用物資等を各避難所施設へ分散させ、有事に万全の対策を構築する。	
こども医療費助成拡大	こども医療費助成を現状の15歳から18歳までの引き上げを目指す。	
教育環境の充実	○民間と連携した外国語教育の拡充 　現状のALT講師に依存する形では大きな進歩は見込めない。そこで民間と提携し、子ども達に外国人と対話する機会を増やし海外でも通用する人材育成を目指す。 ○部活動指導員を登用した教職員の業務負担軽減 　教職員の業務負担軽減を図ることにより、教職員の能力を最大限に発揮できる環境整備を行う上で『部活動指導員』を活用し部活動による拘束時間から解放することで、より精度の高い教育環境の構築を目指す。	○外国語教育の遅れ ○教育費の予算不足

項　目	具体的施策	現状・課題認識
教育環境の充実 (つづき)	○ICTを活用した教育環境の整備 　民間と提携することにより予算削減を図り、捻出した財源を活用し学校へのWiFi設置やICTを活用した授業を多く取り入れ、小規模校間や海外小中学校との遠隔による合同授業や、生徒とのコミュニケーションを図る画期的な授業の実施を目指す。	
認定こども園から公立小中学校までの全員給食化	各家庭の負担軽減を目指し、認定こども園から中学校までの全員給食化を目指す。	